

『カクキューの八丁味噌を愛した著名人』
～ 竹内 京治（たけうち きょうじ）～

1887 年（明治 20 年）～1966 年（昭和 41 年）
愛知県出身。政治家。新聞記者。岡崎市名誉市民。

1915 年（大正 4 年）日刊新聞「岡崎朝報」の社主となりました。
「三河日報」「新三河」と並び昭和初期には岡崎市民に親しまれましたが、その後の戦時統制などにより昭和 18 年頃にはほとんどの郷土新聞は姿を消しました。

1921 年（大正 10 年）から 1933 年（昭和 8 年）までの 13 年間「岡崎朝報」は三河全国オリンピック大会を主催し地域の文化育成に努めました。当社史料室には竹内京治から当主宛に送られた「第一回三河全国オリンピック大会」の案内状が残っています。

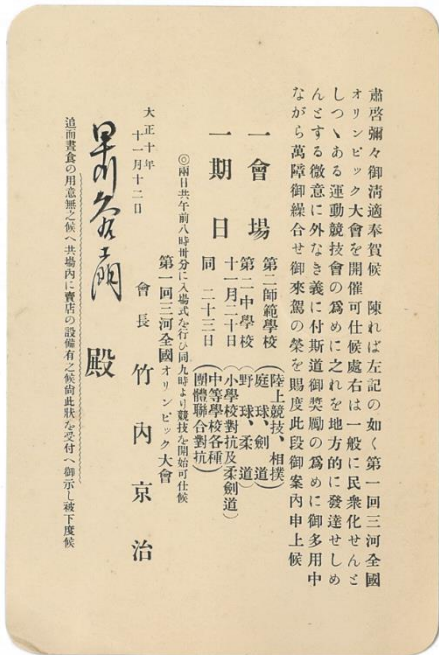
新聞社の経営にあたる一方で政界にも進出しました。1947 年（昭和 22 年）第 10 代岡崎市長に就任し 3 期勤めました。戦災復興・愛知学芸大学（現・愛知教育大学）誘致・岡崎城復元などに尽力されました。

当社史料室には大正時代に竹内京治から当主宛に送られた年賀状、手紙などが残っています。

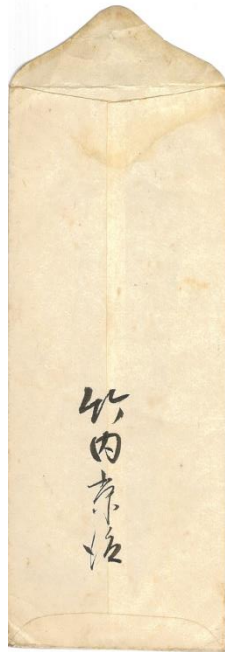
また大正時代の「岡崎朝報」や当主宛に送られた松井弘（新愛知）、小幡三郎（雷新聞）、榊原金之助（東海新聞）のハガキが残っています。

「松井弘」について詳しくは当社ホームページの「カクキューの八丁味噌を愛した著名人」の「松井弘」をご覧ください。

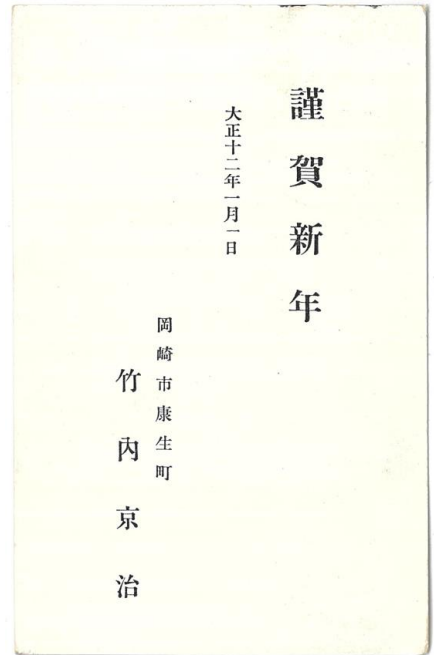
＜竹内京治からの年賀状・案内状・手紙＞



(大正 10 年 11 月 12 日)



(大正 10 年 12 月 28 日)



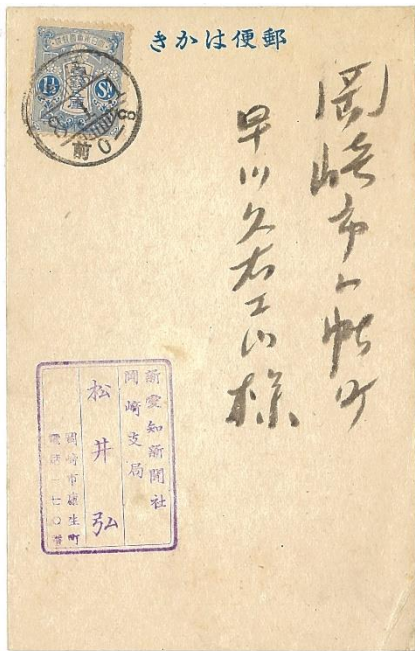
(大正 12 年 1 月 1 日)



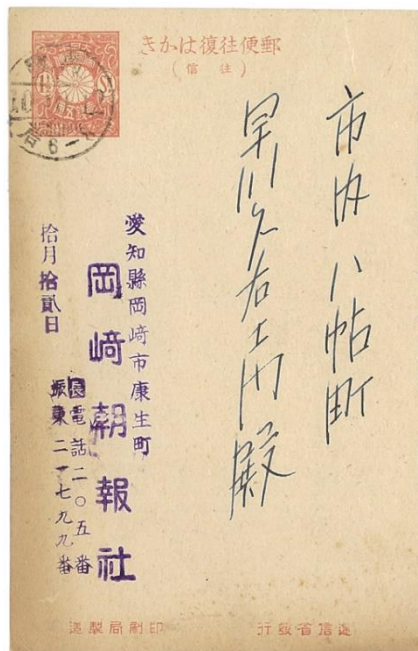
昔の郷土新聞

(昭和 62 年 11 月 20 日発行『写真でつづる明治・大正・昭和の物語 岡崎あれこれ』より)

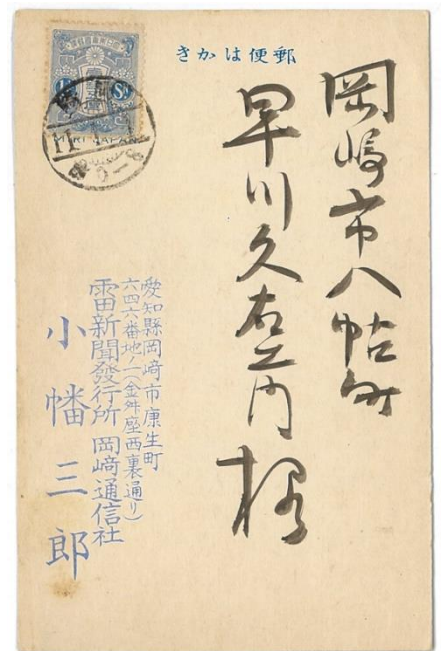
<各新聞社からの年賀状・案内状>



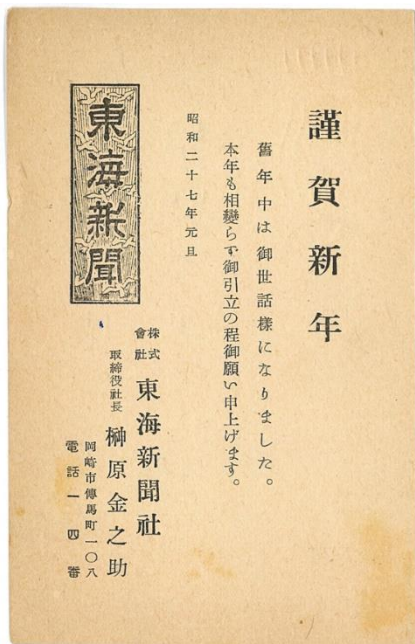
新愛知新聞社・松井弘
(大正8年1月1日)



岡崎朝報社
(大正10年10月12日)



雷新聞発行所 岡崎通信社
小幡三郎
(大正11年1月1日)



東海新聞社・榊原金之助
(昭和27年1月1日)



「岡崎朝報」
(大正13年2月2日)